

平成 30 年 7 月 4 日  
一般社団法人東京都ボート協会  
競技本部  
普及本部

### 第 3 回東日本夏季競漕大会及び第 2 回東日本マスターズ競漕大会の実施について

いつも弊協会の大会運営へのご理解とご協力、ありがとうございます。

さて第 3 回東日本選手権競漕大会及び第 2 回東日本マスターズ競漕大会については、過日公表した大会要項に従い、各クルーの出漕申し込み受付を完了致しました。これに基づき、レーススケジュールを作成し、弊協会 HP 上へアップしたところではありますが、これらを含め、本大会の実施について以下説明を致します。

すなわち本年は春先より著しい戸田コースでの藻の繁殖の影響のため、例えば先の 6/23 (土)～24 (日)の弊協会主催・第 68 回東日本選手権競漕大会では、レース距離の 1500m への短縮等、大幅な変更の下に実施する、といった状況にあります。

その後も戸田コースの状況はあまり改善されていないことから、本大会は以下の要領で実施致します：

#### 1. 競漕水域及びレース距離

各レースは、先の第 68 回東日本選手権競漕大会と同様、基本的に 2～5 レーンを使用した最大 4 ハイレースとします。今回公表の大会スケジュールは、こうした 4 ハイレースを前提に組んでおります。

また現時点では、レース距離及びスタート・フィニッシュ地点は、通常の 1000m レース時と同じとしたいと考えておりますが、これらは、大会当日までのコースの状況如何によっては多少の変更もあり得ることをご了承下さい。

#### 2. 勝ち上がり方式

先の第 68 回東日本選手権競漕大会で採用した、通常弊協会採用している 6 ハイレースを前提とした方式を 4 ハイレースに組み直した方式にて実施します。詳細は弊協会 HP に既掲載の「第 68 回東日本選手権競漕大会スケジュール（暫定版）と大会の運営の変更について」をご参照下さい。

但し第 68 回東日本選手権競漕大会では実施しなかった決勝 B 以降の決勝レースについては、本大会では日程上可能なので実施します。すなわちエントリー数 4 以下の一発決勝となる種目以外では、棄権しない限り、各出漕クルーには少なくとも 2 回の出漕機会があります。

### 3. レースの進行

以上のように、本大会では第 68 回東日本選手権競漕大会と同様、極力藻の影響を回避した対策の下に運営していきますが、それでもそれらを皆無に管理することは不可能であり、いわばコントロール下に置けない自然現象によるものなので、レース中藻による危険な状態が生じた場合、適宜審判より進路変更や当該艇の進行停止等の指示を下すことがありますので、それに従って下さい。また例えば藻により漕ぎにくかった等の理由で再レースを求める様なアピールは認められません。(これらは 5/17～20 実施の日本ボート協会主催の第 40 回全日本軽量級選手権大会における審判団のスタンスと同様です。)

以上、自然現象とはいえ、通常ではない状態で大会を運営せねばならない今回の事情に関し、関係各位の御理解とご協力をお願い申し上げます。

また今後共状況により大会運営について適宜必要事項を伝達する場合（例えばレース距離、スタート・フィニッシュ地点やそれらに伴うコース航行ルールの変更等）があり得ますので、引き続き弊協会の HP にはご注意をお願い致します。

以上